

Before



新しい命が、生まれる。

魚類の生息場保全を実施した阿武川。対岸を保全するため片岸拡幅とし、拡幅部については低水敷(※1)を設け、平瀬(※2)化を防止。水際は固めすぎないよう現地発生材の礫を大小入り混じった状態で配置することにより、植生の回復を促し、魚類など水生動物の休息場所や産卵場所を提供できるよう整備を行いました。整備後は、水際植生が回復したことで水面に影がつくり出され、魚類の休息場所および産卵場として適した空間が創出されています。

※1 普段川の水が流れているところ(=低水路)。

※2 水深が浅く、流れが急な「瀬」で、比較的流速が遅いところ。



N34度24分24秒 E131度41分15秒
(34.407,131.687)



After

阿武川水系阿武川

Abugawasukei ABUGAWA